

平成27年度 筑前町学力向上推進プランの指標・評価基準

筑前町学力向上推進協議会

学力調査等における達成目標						
項目	指標	教科	評価基準			評価
			1	2	3	
学力実態	全国学力・学習状況調査の結果 平成27年4月実施 ※対象：小学校(第6学年) 中学校(第3学年)	国語A	平均正答率が、県・全国をともに下回る。	平均正答率が、県以上または全国以上になる。	平均正答率が、県・全国をともに上回る。	1
		国語B				1
		算数・数学A				1
		算数・数学B				1
		理科				1
	福岡県学力実態調査の結果 平成27年6月実施 ※対象：小学校(第5学年) 中学校(第2学年)	国語基礎	平均正答率が、県を下回る。	平均正答率が、県以上になる。	平均正答率が、県を1ポイント以上上回る。	2
		国語活用				1
		数学基礎				1
		数学活用				1
	学力検査の結果 (小学校) 平成27年12月実施 ※対象：第6学年児童	平均正答率が、全国以上になる。	国語	平均正答率が、全国を下回る。	平均正答率が、全国以上になる。	平均正答率が、全国を1ポイント以上上回る。
社会 算数 理科						
学力テストの結果 (中学校) 平成28年1月実施 ※対象：第3学年生徒	平均正答率が、県以上になる。	国語	平均正答率が、県を下回る。	平均正答率が、県以上になる。	平均正答率が、県を1ポイント以上上回る。	
		社会 数学 理科 英語				
合計						1.1

学校の組織的な、工夫ある、継続的な取組							
項目	目標	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		具体的な取組	評価	具体的な取組	評価	具体的な取組	評価
授業づくり	児童生徒の授業評価 (平成27年12月実施)	授業満足度をアップする。	各教科重点単元を設定し、交流活動を取り入れた授業を行う。	2.8	各教科重点単元を設定し、交流活動を取り入れた授業を行う。	2.8	単元、学期、年間を通じた学習評価を行い、課題を見つけ、解決できるような授業を行う。
	校内研修の充実	校内研修で授業力を磨く。	一人1回以上の授業研の実施、及び学期1回の代表授業研の実施。	3	ユニバーサルデザインの授業づくりを視点とした授業研を各学期に1回行う。	3	ユニバーサルデザインの授業づくりを視点とした授業研修を各学期に1回行う。
	学力の実態の分析と共通理解	学力の実態を分析し、全職員で共通理解する。	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解。	3	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解を行う。	3	全国・県の学力実態調査及び年3回の学力テストの分析と共通理解を行う。
学びの基盤づくり	学習規律の確立	全学年共通の学習規律と発達段階に応じた学習規律の徹底を図る。	授業規律の徹底を学力向上プランに位置づけ全職員で取り組む。	2	授業規律の徹底を毎時間、全職員で取り組む。	3	子どもの話す、聞く態度を全職員で徹底する。
	補充学習等の実施	補充学習等を実施し、学力の定着を図る。	放課後学習会及び長期休業中の補充学習の実施。	3	放課後学習会及び長期休業中に補充学習を実施する。	3	毎週月曜日の放課後に補充学習を位置づけ、継続的な指導を行う。
連携づくり	学習サポーターの活用	大学生、PTA、地域住民を活用し、個に応じた指導を行う。	放課後学習会や別室登校生徒への学生・地域ボランティアの活用。	3	放課後学習会や勉強合宿、補充学習等において学生・地域ボランティアを活用する。	3	放課後学習会や勉強合宿、補充学習等において学生・地域ボランティアを活用する。
	家庭との連携	家庭学習を充実する。	自学ノートの内容を賞賛するコンクールを実施する。	2	学期に1回(学年ごと)自学ノート及び授業ノートの内容を賞賛するためのコンクールを実施する。	2	週に1回、帰りの会のときに家庭学習の確認テストを行う。
合計							

4 計画以上に実施できた 3 十分に実施できた 2 十分には実施できなかった 1 実施できなかった